

各位

会社名 桂川電機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 渡邊正禮  
 (JASDAQコード番号: 6416)  
 問合せ先責任者 常務取締役 朝倉敬一  
 電話 03-3758-0181

通期業績予想値と実績値の差異、営業外収益及び特別損失の計上並びに繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

1. 業績予想値と実績値との差異について

平成30年2月13日に公表しました平成30年3月期の業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

平成30年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異 (平成29年4月1日～平成30年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期 純利益 (単位:円)
前回発表予想 (A)	9,200	△ 560	△ 310	△ 300	△ 19.58
実績値 (B)	9,338	△ 620	△ 543	△ 587	△ 38.32
増減額 (B-A)	138	△ 60	△ 233	△ 287	
増減率 (%)	1.5	—	—	—	
ご参考: 前期実績 (平成29年3月期)	10,694	△ 993	△ 1,182	△ 1,056	△ 68.95

2. 差異の理由

(1) 連結

当社グループにおきましては、力強さに欠ける状況で推移いたしましたが、通期の連結売上高は前回修正予想の92億円を1.5%上回る93億38百万円となりました。

営業利益は経費削減等の効果もありましたが、海外での企業間競争の激化による販売価格の下落や売上原価率の上昇、欧州市場の販売体制の再構築に向け時間と費用を要していること等による販売費及び一般管理費の増加なども利益を圧迫する要因となり、前回修正予想の5億60百万円の損失から6億20百万円の損失、営業外収益に為替差益83百万円の計上もありましたが、前回修正予想の3億10百万円の損失から5億43百万円の損失、親会社株主に帰属する当期純利益は前回修正予想の3億円の損失から5億87百万円の損失となりました。

3. 営業外収益、特別損失の計上、繰延税金資産の取崩しについて

平成30年3月期の決算において、為替相場の変動により営業外収益に為替差益83百万円を計上いたしました。

平成30年3月期の決算において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき当社グループの保有する固定資産について将来回収可能性を検討した結果、台湾三桂股份有限公司において、減損の兆候が認識されたため、建物及び構築物、機械装置及び運搬具・その他・工具、器具及び備品について23百万円の減損損失を当連結会計年度末において特別損失に計上いたしました。

平成30年3月期の決算において、台湾三桂股份有限公司の繰延税金資産の回収可能性について将来の十分な課税所得が見込めないことから、繰延税金資産の全額取崩しを行い、法人税等調整額に1億2百万円(損失)を計上いたしました。

4. 業績への影響

上記の営業外収益、特別損失、繰延税金資産の計上につきましては、本日開示の「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に織り込み済みであります。

以上